

「道内の感染状況等について（道案）」に対する主な意見

有識者・専門家等の意見

1-①

感染者数は減少し、感染状況は改善しているが、道外からの移動が活発になればすぐに状況が悪化する。引き続き注意が必要。感染経路不明の陽性者には全例デルタ株のチェックを引き続き行ってほしい。ワクチン接種は供給の問題があるが、供給されれば速やかに接種できる体制を整えてほしい。

1-②

道案に異論はない。入院患者数は順調に減少しているが、人流が戻りつつあり、デルタ株の感染拡大が懸念される為、検体検査の継続と状況の把握をお願いしたい。全国平均に比べ、ワクチン接種率が低い状況であるため、ワクチンの確保と環境整備に注力してほしい。

1-③

オリンピック、夏休み、お盆等で人の往来がさらに増えることが予想される。ワクチン接種を進めると同時に、接種済の人も含めて引き続き感染予防対策をとることが重要であることを伝えてほしい。

1-④

道案に異論はない。オリンピックや夏休みで人の動きが多くなることが予想される。再度のまん延に備え、医療体制の充実とワクチン接種の迅速化を望む。

1-⑤

感染経路不明は、把握できていないだけの可能性もあるので、丁寧な聞き取りを進めてほしい。

高齢者へのワクチン接種を強力的に推進すべき。

潜在看護師及び警察職員への接種は大変素晴らしいこと、消防署員や自衛隊にも広げてほしい。

デルタ株が流行することを防ぐことは難しいと考えるが、唯一、ワクチン接種のみが有効な対策であり、デルタ株の流行前にワクチン接種が行き渡るように配慮願いたい。

1-⑥

北海道のワクチン接種率が低く、供給を抑制されると感染が拡大する可能性が高くなる。十分なワクチンの供給をお願いしたい。

1-⑦

市町村では今後の対策の柱となるワクチン接種において、国が求める7月末までの高齢者接種の完了はもとより、希望する12歳以上の対象者への接種を円滑に進めるために、医療従事者の確保等に苦慮しながら懸命に取り組んでいる。

こうした中、一部の市町村において7月下旬に予定されていたワクチンの配分が急遽未定となる事案が発生し、既に接種日程等を周知していた住民への対応に大きな混乱が生じている。

新型コロナワクチンについては、その安全性や有効性について批判的な声もある中で、市町村では住民に理解を求めながら希望者に対する円滑な接種に努めてきており、こうしたワクチン供給の突然の停止や見直しは住民の信頼を大きく損なうものであり、今後の接種計画に支障を来すことから、市町村が求めるワクチンが確実に配分されるよう、国に強く申し入れていただきたい。

併せて、8月以降の配分についても、ワクチンの種類や供給時期、数量等が明らかにされていないため、接種券を住民に配布できないなど事務に支障を来していることから、ワクチン供給に関する具体的なスケジュール等を速やかに示すよう、国に申し入れていただきたい。